

**授業概要**

本講義は、財務諸表論Ⅰの内容をふまえ、企業会計の理論を学ぶものである。授業では、会計諸規則や会計の諸概念を体系的に説明するとともに、主な会計処理問題を会計制度に織り込みながら解説する。

特に、財務会計の概念フレームワーク、時価主義会計、連結会計、減損会計など現代企業社会が直面している会計処理問題を具体的に解説する。

**授業計画**

第1回	主財務諸表の種類とその特徴
第2回	財務会計概念フレームワーク（財務報告の目的と会計情報の質的特性）
第3回	財務会計概念フレームワーク（構成要素と認識及び測定）
第4回	公正価値の概念とその測定
第5回	連結会計（連結基礎概念と作成原理）
第6回	連結会計（持分法と段階取得の処理）
第7回	キャッシュフロー計算書の会計
第8回	外貨換算会計
第9回	税効果会計
第10回	デリバティブ取引とヘッジ会計
第11回	リース会計
第12回	資産除去債務の会計
第13回	研究開発費の会計
第14回	ストックオプションの会計
第15回	企業結合会計
第16回	定期試験

**到達目標**

経済経営のグローバル化に対応できるように、財務会計に関する高度の専門性と経済経営社会への関心や国際的な視野を広げることを意図している。

**履修上の注意**

- ・「財務諸表論Ⅰ」を履修すること。
- ・複式簿記の原理を理解していることが望ましい。

**予習復習**

授業の理解度を高めるために、講義内容に合わせて簿記検定の既述問題を解かせる。

**評価方法**

定期試験(80%)及びレポート(20%)で評価する。

**テキスト**

- ・近田典行編著『会計学ベーシック』中央経済社
- ・必要に応じて、資料を配布する。